



北斗句会

令和六年一月定例会（十日）

五十音順 特選 石田きよし選

中庭でなにやらゆかし羽子の音

大崎石州

特 除夜の鐘この一年を真つ白に

太田黒幸風

特 碧空へ響く手締めや達磨市

大森康正

乾杯の白ワインかな朝の春

川崎きこう

逝く人や歳月待たず年明くる

竹内雲泉

詩心を大事に生きむ初句会

田中資凡

餅搗きやこね取る母の手の紅き

長池豆陽

特 浜千鳥橋のたもとの白秋碑

藤田紀潮



羽衣の木の枝枯るる余呉の湖

石田きよし